
『死神エゴイズム』

加藤アガシ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『死神エゴイズム』

【Nコード】

N2148H

【作者名】

加藤アガシ

【あらすじ】

どうして人は死ぬの？それは死神のエゴのせいさ！みたいな感じの短編5編！！でもあり、連作でもあります！！

概念スペンサー

『おいお前！ちょっと待てよ！』

商店街を歩いていると、見ず知らずの高校生に突然話しかけられた。

僕はあまりタフなタイプじゃないから、その高校生の迫力ある容姿とその言葉に慄いた。

『な、な、何ですか？』

僕がそう答えると、高校生はウウツと苦しそうに顔をしかめ、突然その場で倒れてしまった。

でも僕はあえて救急車を呼ばないで、走ってそこから離れた。

幸い、誰にも見られていない。

僕はこう見えても、一端のヤクザなのだ。

裏切ドライバー

オレはごく平凡なサラリーマン。

妻子あり。しかし、オレは今、猛烈に恋をしている。

その相手は風俗嬢のまいちゃん。

彼女に会うために週5で歌舞伎町に通っている。

安月給のサラリーマンには金が正直キツイ。
いや、むしろヤバいのだ。

金がないなら行かなければいい。
そんなことは分かっている。

妻と子供にも迷惑はかけたくない。
かけたくないのに借金は増える。

一度、自宅に取り立てのヤクザが来たほどだ。

しかし、幸運なことにそのヤクザはなんとも気の弱そうな男で、
てもヤクザには見えなかったことからなんとか妻をごまかせた・・・。

でも！そんなことはどうでもいい！

今は、まいちゃんが俺にとって全てだ。

彼女と結ばれるためなら何だってする。

今現在、オレは彼女のアパートの前にいる。

入念なりサーチで、彼女には同棲している男がいることが分かった。

包丁を握る手が震える。

彼女と結ばれるためなら、オレは何だってする。

恐喝ランデヴー

その日、高校生ミサオは沸々とした怒りに襲われていた。

地元の不良の先輩に金をせがまれていたからだ。

とは言え、普段ならミサオは恐喝されるような玉じゃない。自慢じゃないが、この辺の高校じゃ、一番か二番の腕っ節の持ち主だ。

しかし、相手が悪かった。

先輩は、元『死神』の異名を持つ超不良で、今まで何人を病院送りにしてきたのか分からない悪の権化のような化け物だった。

先輩は高校卒業後も、母校の制服を見つけては金をせびっていた。噂によると、自分の女に体を売らせてラッパーを目指しているらしいが、誰もそのライムを聞いたことはない。

だが、『死神』先輩には誰も逆らえないのだ。むろん、ケンカに自信があるミサオもだ。

金は、そこらへんの気の弱そうなオヤジから取り上げればいい。

ミサオは仕方なく商店街へと向かった。

御化粧ファイナンス

彼女は頭が悪かった。

それもただ単純にテストで量れる頭の悪さではなく、彼女の持つ思考自体が陳腐で浅はかなものだったのだ。

そんな彼女が高校卒業後に、売るものは自分の身体しかなかった。だけど、そんな人生でも彼女なりに満足してた。

毎日毎日、安月給のサラリーマンの相手をし、その稼ぎを頂く。

その金で将来ライムスターの彼氏を養う。

いずれは彼のラップで食べていける。夢があるだけで幸せだった。

ただ不幸なのはなぜか殺人容疑で警察に捕まってしまったことだ。

商店街でたまたま刺されていた高校生のナイフを抜いてあげただけなのに……。

可哀そうに彼女は頭が悪かった。

死神エゴイズム

その日が彼の人生最後の日だった。

どうやら今までツケが回ってきたようだ。

自宅のアパートに着くと、いきなり変な男に刺された。

天国にはいけないことは自分自身が一番よく分かっている。

人生最後の日だって言うのに、今日も母校の後輩を恐喝した。

それに飽き足らず、走ってきた気の弱そうなオヤジをボコボコにして金を奪い取った。

『それがよくなかったんだ、きつと』

彼には、まいという彼女がいる。

今日が彼女の誕生日だった。

『自分で稼いだ金じゃないとプレゼントの意味ないか・・・』

彼は意識が遠のく中で、彼女のために買ったヴィトンのバッグが変な男によって盗まれるを見ていた。

世界はいとも簡単につながる。

ただ、数秒ずれるだけで。

おわり

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2148h/>

『死神エゴイズム』

2010年10月11日05時18分発行